

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 3 号
2 0 1 6 年 7 月 2 2 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 大山 隆幸殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

「508Aドアコック蓋開き」に関する申し入れ

7月1日以降、N700系ドアコック蓋「開」時の乗務員の運転取扱いが変更になった。7月3日、ひかり508号が大一両～京都間走行中にドアコック蓋開きとなり運転士が停止手配を取り列車遅延が発生した。訓練等では、無人の状態が蓋が開いたとの説明を行っている。また、この事象に対して仕業検査車両所では関係社員に対して、約4ヶ月前の「点検・修繕」について時系列等報告書の作成を管理者が指示している。

よって、下記の通り申し入れるので早急に労使協議の場を設定すること。

記

1. 当日の508Aドアコック蓋開きの詳細について明らかにすること。
2. 今回の事故の原因と対策について明らかにすること。
3. 今回の事象に関し、同編成の過去の事故歴について明らかにすること。
4. 今回の事象に関し、全編成のドアコック蓋の調査・点検を実施したのか明らかにすること。
5. 全編成の同種事故の発生件数を明らかにすること。
6. 7月1日より、走行中にドアコック蓋開き（一時的を除く）が発生した場合、停止手配を取るよう運転取扱いが変更になったが、理由について明らかにすること。
7. ドアコック蓋開きのPW（ポップアップ）が「一時的」については、運転継続となっているが、「一時的」とはどのような事象を言うのか明らかにすること。
8. 7月6日、「3月7日、G25編成・3号車、No.3「Dコック不良の調査・修繕」した関係社員に対して、時系列等報告書の作成を管理者が指示しているがその目

的と理由を明らかにすること。

9. G 2 5 編成・3号車、No.3「Dコック」を取り扱った関係社員に対して時系列等報告書の作成を指示しているのが、同日、同編成の検修作業を担当した全社員に時系列等報告書の作成を指示しているのか明らかにすること。
10. 3月7日以降、交番検査でN700系ドアコック蓋の動作確認を行った際は異常がなかったのか、また、機械的構造に問題はなかったのか明らかにすること。
11. 今回の事象について、国土交通省への報告が必要と考える。会社の見解を明らかにすること。

以上